

「平成27年度実践的な手術手技向上研修事業」

採択を受けて

産業医科大学における取り組みと現状

産業医科大学 脳神経外
科

西澤 茂

事業遂行のための経過

「平成27年度実践的な手術手技向上研修事業委託費交付決定通知書」

平成27年11月5日付



外科系診療科に参加有無の確認



参加各科から大学倫理委員会／利益相反委員会に書類提出

平成27年11月承認



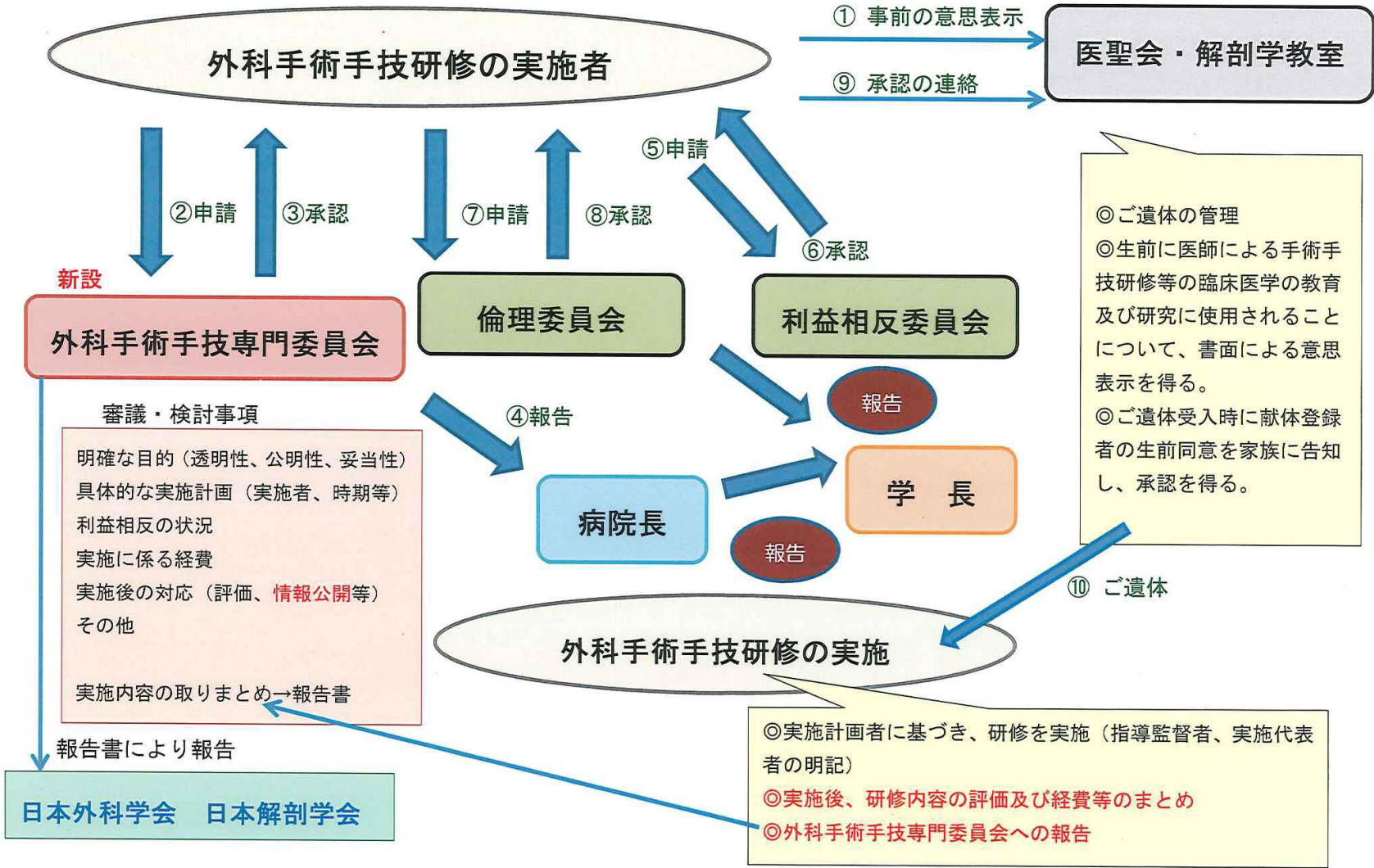
事業計画立案 平成27年11月-12月

「平成27年度実践的な手術手技向上研修事業」参加希望科

- 脳神経外科
- 整形外科
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 第2外科（呼吸器外科）
- 泌尿器科
- 産婦人科
- 救急医学
- 第1外科（消化器、肝胆膵外科）

予算案作成と日程調整

外科手術手技研修等の実施に係る学内の体制、要件等フロー



平成27年度実践的な手術手技向上研修事業 実施計画書

- 第2外科 : 呼吸器外科手技・基本編 応用編 (2016/1/10)
- 整形外科 : 関節内視鏡外科 脊椎・脊髄外科の手術手技 (2016/1/23 - 1/24)
- 産婦人科 : 傍大動脈リンパ節郭清術 他 (2016/1/30)
- 救急医学 : 救急医学に必要な外科手技 (2016/1/31)
- 脳神経外科: 頭蓋底外科 - 経錐体骨手術の手術手技 (2016/2/21)
- 泌尿器科 : 後腹膜臓器に対する手術手技 (2016/2/28)
- 耳鼻咽喉科・頭頸部外科: 耳の手術、頸部郭清術の手術手技 (2016/3/5 - 3/6)
- 脳神経外科: 頭蓋底外科手術 - 神経内視鏡外科手術 (2016/3/13)
- 第1外科 : 肝・胆・膵腫瘍に対する外科手術手技 (2016/3/20)

第2回婦人科手術手技研修

日時 2016年1月30日(土) 9:00-17:00

会場 産業医大 1号館 地下1階 解剖学実習室
北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

参加費 無料(定員になりしだい締め切らせていただきます)

研修内容

傍大動脈リンパ節廓清とLaterally extended endopelvic resection (LEER)実習ならびに骨盤神経の走行と温存術式の検討

腎静脈から下方のB1, B2領域のリンパ節廓清に伴う腹腔神経叢と腰動静脈の走行確認
内腸骨動静脈を結紮切断し傍結合織全摘出を試みる。

骨盤神経の走行を確認し神経温存を検討する

第2回

平成27年度

頭頸部外科領域における 実践的な手術手技向上研修

Cadaver dissection

若手医師限定!

日時 | 2016年3月5日(土) 14:00～17:00 第1部
3月6日(日) 9:00～12:00 第2部

会場 | 産業医大 1号館 地下1階 解剖学実習室
北九州市八幡西区医生ヶ丘1-1

参加費 | 無料 (定員になりしだい締め切らせていただきます)

第1部 3月5日(土)14:00～17:00

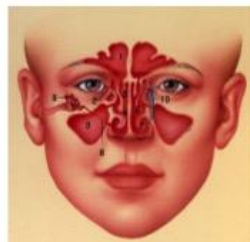
「鼻副鼻腔～中顔面実習」

内容：内容：鼻副鼻腔解剖全般、ESS、上顎全摘 その他
主に内視鏡下にcadaverの中顔面解剖実習を計画しております。

講師／鈴木秀明、實地信介

(産業医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)

監修／森本景之 (産業医科大学 第2解剖学講座)



第2部 3月6日(日)9:00～12:00

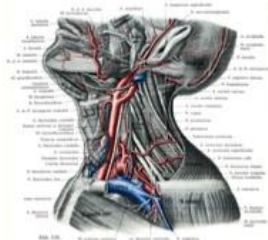
「頸部実習」

内容：頸部解剖全般、頸部郭清、喉頭全摘 その他
主にcadaverの頸部解剖実習を計画しております。

講師／鈴木秀明、大久保淳一

(産業医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座)

監修／森本景之 (産業医科大学 第2解剖学講座)



参加希望者は参加申込書を郵送、FAX、mailで送付ください。

お問い合わせ

産業医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科医局
TEL 093-691-7448 FAX093-601-7554
E-mail: j-jibika@mbox.med.uoeh-u.ac.jp



2016 [SUN]

3/20

8:30-17:00

産業医科大学解剖学実習室
(大学1号館地下1階)

第1回 北九州消化器外科解剖セミナー

受付開始

8:00

開会の挨拶

8:30

平田 敬治 / 産業医科大学 第一外科

第一部

8:35-12:00

第二部

13:00-17:00

実習内容：

上部消化管：食道胃接合部癌に対する手術

大腸骨盤外科：骨盤内臓全摘、側方郭清

肝・胆・膵：肝葉切除・膵頭十二指腸切除

平成27年度実践的な手術手技向上研修事業 救急医学(2016/1/31)



平成27年度実践的な手術手技向上研修事業

第2外科

参加者:学内 5 名

学外 9 名 計 14 名
(福岡県内者)

整形外科

参加者:学内 5 名

学外 10 名 計 15 名
(福岡県内者)

産婦人科

参加者:学内 6 名

学外 7 名 計 13 名
(九大2名、福大2名、久留米大1名 岐阜県 2名)

救急医学

参加者:学内 10 名

学外 22 名 計 32 名
(福岡県内者:12名 福岡県外者:10名)

サージカルトレーニングで得られた効果

- Thiel 法により、実際の手術と同じような感覚で手術トレーニングが行えた。
- 困難な手術アプローチをトレーニングで体験できたことで、実際の手術に役立つ。特に外科解剖の理解に非常に有用であった。
- 実際の手術では躊躇する操作をこのトレーニングで克服できると思う。
- 若手の手術手技向上教育に実際の手術のときに役立ったことが実感できた。

事業運用における課題

1. 予算配分と日程調整に苦労した。

無影灯の購入、講師謝金(交通費を含め)

2. 各科から献体ご遺体に対する要求があり、それに答えるご遺体の数が足りなかった。
3. 日程調整: 系統解剖実習が12月末まであり、すべての日程を1-3月で行わなければならない。
センター試験、大学入試期間中はトレーニングは行えない。
4. 解剖学教室スタッフの負担増

学内規定: 技官の時間外手当が出ない。代休のみ。

今後の課題

- 予算配分をどうするか。不足分は各科で補填するのか。
- 日程調整 — 過密スケジュールと献体数の確保。
- 手術手技向上研修事業をおこなうための場所の確保。
- 受講料をとってもよいのか。
- 解剖学教室スタッフの負担軽減をどうするか。